

令和4年度
第1回寝屋川市青少年自立支援連絡会会議録

1. 日時

令和4年12月26日（月）午前10時～11時

2. 場所

池の里市民交流センター2階 青少年の居場所スマイル「STUDY」の部屋

3. 出席委員

保健予防課 日野委員、産業振興室 大橋委員、福祉総務課 山口委員、
保護課 増茂委員、障害福祉課 尾崎委員、こどもを守る課 岩本委員、
教育研修センター 今井委員、青少年課 大野委員（会長）

4. 欠席委員

大阪府中央子ども家庭センター 山岡委員、教育指導課 清水委員
青少年課 三河委員（副会長）

5. 事務局

青少年支援員 川上

6. 会議次第

(1) 開会

① あいさつ

② 自己紹介

(2) 案件

① 各課より情報提供

② 情報交換

会議要旨

(1) 開会

① あいさつ

会長からあいさつ

② 自己紹介

各委員から担当及び所属の青少年自立支援策等の紹介

(2) 案件

① 各課より情報提供

1. 【保健予防課】

精神保健担当の業務内容をまとめたリーフレットの紹介。

ケースワーカーが4名、保健師は2名在籍。臨床心理士による相談も受け付けている。心の健康相談、心の病気、依存症に関することや、ひきこもり等相談対応。

大阪府警と連携し、自殺未遂行為を行った市民やその家族に対し再企図防止のため相談支援を実施。

2. 【産業振興室】

地域就労事業において、就労に関する困難な事象は、必要に応じて専門機関へ誘導するなど支援をしている。

寝屋川市駅の下にあるシティ・ステーションの中にある就労支援センターや、隣にハローワークもあるので繋ぎ就労支援を行っている。

子育てリフレッシュ館リラットを利用し、子育て世帯に向けた面接会、相談会の開催。

3. 【福祉総務課】

民生委員・児童委員に新任の方54名が加わった。

子育て応援プロジェクトでバッジを作成、「赤ちゃん泣いてもいいんだよ」をアピールしている。次年度から活動も活発になる予定。

民生委員児童委員の主任児童委員は、こども担当なので、高齢者見守りはしない。

4. 【保護課】

子どもの健全育成相談員を2名配置。進学相談や学校と連携している。

生活保護者の相談、悩みや健康状態を確認し生活支援や就労支援等を行っている。

5. 【障害福祉課】

障がい者の相談支援事業において、障がい者の相談や障がい者差別解消支援体制を整えている。昨年度、3、4件の相談があった。解決が難しい場合は、大阪府に求めることもある。

6. 【こどもを守る課】

児童虐待の窓口や、要保護児童地域対策協議会の事務局として対象者の見守りや、中央子ども家庭センターへの通告。また、関係各課と連携をして虐待に至るまでに発見するように努めている。

児童虐待防止の周知は毎年11月にあるが、令和4年度は中止になった。

市内自治会掲示板にポスター掲示依頼や市ホームページ、市広報誌を活用している。

7 【総合教育研修センター】

不登校支援や教育相談において、寝屋川市内の学校生活での悩みを受付けている。

学校に行きづらい子等が教育研修センターで勉強をする。

今年度からは15時までで、水曜日は午前中。朝、起きられない子は、学習1時間だけ活動。学生ボランティアが話し相手になり、登校支援教室に来所できない子には、学生ボランティアを派遣することもある。

教育相談連続講座では、一般市民が対象だが、教員が来ることもある。

集まることで、横のつながりを大事にしている。

8 【青少年課】

新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されたため、放課後総合プランにおいて、工作などの活動ができるようになってきた。

家庭教育サポートチーム派遣事業においては、家庭教育サポーターを市内24小学校に1名ずつ派遣しており、家庭訪問や保護者の悩みの軽減に力を入れている。

